

軍務局

機密

第一課
大正九年九月二十日

海軍大佐

高橋壽太郎

第二課

航空部

陸軍航空學校分校視察報告

九月十六十七日午基野縣下志津原航空學校分校及歩砲兵飛行校
連合演習ヲ視察ス

航空學校分校(偵察班)

該分校、偵察班ニテ空中偵察、空中写真、射撃視測、無線電信
、四科ヲ教育スルモノシテ、目下偵察班將校タルハ、講習員
去々八月二十日入校、九月下旬卒業、修業期間約一ヶ月
空中偵察、陸戦ノ性質上、特ニ重要視セラルレ、請般ノ航空作業、皆
空中偵察、為、補助機内ナリト存ス

九月廿五日
軍務局機受

0442

茲令校ノ建物及諸施設、佛國航空團來朝時、儘之ニシテ
近々改革大規模ノ事ヲ計畫スルヲ以テ、供用飛行機、近來
大ニ改革ヲモシ、モ式(クアンマニ)ハ皆各トナリ、中島式數台サルヲ以テ
二三台ノ供用シツ、アリ

講習員ハ射撃級ノ各科將校ニシテ砲兵科出身ナリキハ一律ニ
射撃教測ヲ課ス、之シ砲兵科將校ノハ射撃教測ヲ得ルニ因

難トシ、且全ク

射撃教測ニ無線電信(飛行機ノ送信機ニテ搭載ス)ノ使用セ、砲兵科
ト通信ノ波長ハ每十五米ノ差ノ以テ各級組、係數組ニ排列シ
相シ接スル部隊間ニ同組ノモノヲ使用スルヲ以テ波長ニ係
ナリシラン如クセリ、無線電信ニヨリ規約信子別表(秘)ノ如シ
妨信ナシタル場合、対空第一格別表ニ依テテアルヲ以テ此モ海軍
ノ陸軍振トシ、遠シ(意唯佛國航空團其マ、意録ノ傳ヘ)

表
0443

其カ如シ九月十七日米島砲兵飛行機連合隊要降偵察飛行機
 あり無線電信ハ船橋電信所一通信ノ為トケラレ四五千米ノ距離ニ
 在ル地上無線電信所ニテ受信困難ナリト云フ
 空中写真ハ飛行機着陸後二十分ニテ現像ハ焼付テ終リ報告トテ提出
 ン得ヘク更ニ那載時間ノ短縮ニテ即戦用ニテ適スルモノトナサレト好カ
 シ右ト云フ先般某師団友未機降四ツ街通停車場ニ於テ一行
 到着ノ状況ヲ空中ニ撮影シ閣下若枝降之ヲ提示シテアソト云
 ハセリトカ如シモ印画類ハ不鮮明ニシテ^{到着}独逸軍機空中写真比
 アラハ空中写真^類ノ多キモ其ノ一因ハレト認ム
 空中写真ハ其地^圖ヲ製作ハ撮影高度ヲ一様ニ保ツテト得ハ極多
 簡單ニ行フニト得ヘク水路測量ニ利用シ有利ナラム
 此機降設ヘハ四ツ街通ニシテ飛行機格納庫一モ天幕張テ修理
 機庫ハ皆無トモ言フク見ルハオモノトシ雇員二十名ヲ使用シ候ル

目下少少
至新出
位少少

復案飛行實修、對之講評、傍聴、方復案操縦、手真、電信ト
各專任教育、講評型ノ通リトシテ講習員ニ見及質向ニ対シ
的確ニ教訓ヲ與ヘ得サリシモ、^{教育}効果ノ大ナリトシテ為ニ教育者ト
被教育者ト、ホテニシアル、差ハ大ニク要スボルト高クサシハ電流
通ハス後ニ教育ノ効果ヲ示シ、明ナリ特ニ海軍ニ及テ航空學校教員
一場合ニ特ニ此点ニ留意スルニ必要アルトシ

歩兵飛行機連合講習

講習ノ構成等、別冊ノ如シ其要領ヲ略記スルハ、歩兵學校教員聯隊、
一二大隊、佐倉聯隊、一大隊ヲ成シ、^{歩兵}三個大隊、野砲兵射撃學校、^{機銃}一大隊
及航空學校復案班、飛行中隊、一部(教機)ヲ連合部隊ニテ做
及敬請、^{本機}講習
歩兵聯隊、今面新採用ノ狙撃手砲ニ付、^{機銃}該砲、二十七密砲

(修正)

主トシテ敵機固ニ破壊ト使用ス所謂ホムホム砲ナリ
 曳ト得シ其他砲較射砲ト稱シ短口径砲ニ木製長杆ヲ挿シ其ノ
 先端ニ口径ヲモ遠ニ大ニ炸薬ノ量著セル疇形ノ彈丸(附)
 大仰角ヲ發射ス彈丸ハクルク轉倒シテ空中ノ舞上リ舞下リ
 著発スルモノ射程約三四百米ナリ彈丸ノ不定靜トシ似ス躲避
 小ニシテ右月彈比而多ナリ塹壕ヲ用ナリト云フ
 以テ行機上ヨリ種ノ彈丸(附)拳銃ニシテ發火スラ諸種ノ規則信多シ
 使用ス發煙黃色ノモノヲ黃龍黒色ノモノヲ黒龍ト稱ス今西國
 ニハ黃龍ノ以テ傳書、將校指揮官位ニ知ラセシ規則信多トシ
 地上ニ放テ、青赤花布被ト稱ス白色凡呂敷標ノモノヲ布其ノ
 形ニヨリ所要ノ名ニシテ報告員ノ被トニ便ス黒龍味方
 布(附)線ヲ標示セヨシノ規則信多ニ使用ヤ
 尚ホ其突撃ノ砲兵ト通報シテ其掩護射撃ノ要火ト又其共

前進に伴ひ砲兵隊等射撃進歩ノ希望ニ付、場合各々行状ト
指針表、砲兵隊ノ規則、電信ノ規則ヲ撰シテ、凡如橋電
信所ノ整備、好意ニシテ之カ受信困難ナリトシテ

雜件 其ノ一

今同陸軍ニテハ、劣兵操典、教育令、内務書ヲ改正ニ付之カ説明
普及ノ陣ナリシニ爲、旅團長、聯隊長格、部隊長ニ爲テ、
ノ召集シ九月十四日アリ二十日ニ至ル一週ヲ東主ニ書シ、
千葉縣所在、陸軍官衙學校等ニ於テ説明者、海兵部
教育ノ供覧セシニ所要、旅費五万円ト稱ス九月十七日下
志津原ニ於テ前記陸合團長ニ、部隊長ノ兼用ニ供スル
爲、教育頭ノリ志津、輸送ニ等例ニ依テ、頗ル大掛ナリ

歩兵操典の改正、要旨を周知し外形を陶冶し之を二次上の精神的教養
の主眼とす各個教練を密着教練^中片苦しき却多ク緩ゆる
之ヲ^此トモ一年其後ニ^此迄^ハ其^ハ是^レ也^トカカシ

歩兵操典の改正中^自手銃隊操典、教習者及おる事項ト決せん
二三ノ點ヲ^右カキ

不動の姿勢

従来ト大差ナキ手之両股外側ニ出シテ
コトノ若干自由ニセリトノエト

射撃手ノ姿勢

立射ノ姿勢ヲトルト右足ノ後ニ引ク
改正案ニ左足ノ前ニ踏ミ開クトシ

擡銃

連射ノトキニ^左足^ノ前^ニ踏ミ開クトシ
即チ歩兵ノ^左足^ノ前^ニ踏ミ開クトシ

持銃

従来ノ^二歩^ノ動^ノ軍^ニ一^歩動^ノ軍^トシ
ニテ銃ノ前ニ持テ上ケテ左手ニテ右手ノ下

行進

ノ握ハエトハ往來通ルモ第一節ノ右チリ
放シテ用心全ク治フ件ハス動作ヲ行クニ
是ノ地上ノ踊ミツケルトヤヒカカシク仲ハス
エトク往來ハマレク要求センモ改正案ハ
此要求ノ撤回モ右向テ左向テニ行テモ
ヒカカシク仲ハスチホク行フヘシトモホク
止マタリトエト

横隊行進

停止ニテモ整列ヲ為セズ
停止ニテモ整列ヲ為セズ

内務書ノ改正ハ往來ノ上官ノ係主ニ成ルハテ差控エムコトシ
各員ノ自治的自發的精神ヲ涵養シ主眼トシ行テ各自ノ身
「マハリ」ノエト選擢專ニシトモ成ルハテ上官ニ成ルハテ差控エムコトシ
免角世間ノ批評ヲ招クニヨリ廢止セリト改正内務書ハ昨今

(明治)

印刷中ノリトノコトナリ

教育令改訂ノ因ニテハ矢張り上流ノ千條主義ヲ斷ク特斷專行
ノ事ナリ美成ニモトモ其一主眼点トシカハ如シ

雜件 其ノ武

部隊ニ供覽セラルルガ飛行機十數台ナリ志津軍ニ集ム高専
飛行機ノ機種ハガルムシニ百五十馬力中島式ガ多ク馬力
シヨウロシハスバツト式アフロシ式等ナリ高専飛行機見事ニシテ
大ニ敵衆ノ喝采ヲ博ス中ニガアプロシ式ヲ巧妙ニ横上リ
若ク行ヒシモノアリ孰シモ飛行機ノ進歩ガ見ストク承認セリ
部隊長連ノ批評眼ニ相背シ進歩シルハ安ナキナリ
市隊長ノ為ニモ航空團ニ滿座ハ航空學校ニ教官担当シ約
一時ナリ且リ別表ニ就キ説明アリ同滿座中ノ一節ニ若ク初校

十條後遺稿ニ
ノ事ナリ伊在ナリ
陸軍

取扱之任之(十)此省不足之困却らんモノ、如何今年未全生
務(高)任者ノ召集ニ致シテ年教育ノ施ニ際子(ト云フ)

雜件、 其ノ一

航空學校偵察班長ノ蒞ヨリハ支那渡来セキ佛也航空團
ノ帰佛後其ノ助報告せん所ヲ詳合スルハ日本(成録)
他ノ二等子也諾(成)ニ(亞)南(亞)丁ニ於テ毛(亞)及(亞)知(亞)等(亞)

航空

(成録)

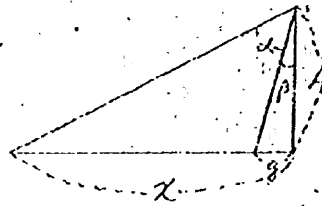
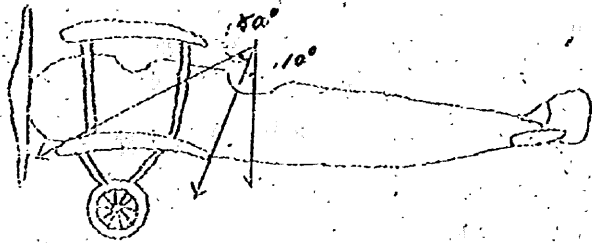
(明治)

0451

附表第一

無線電信		電信		信号		布板		信板		信板	
通信符号	数字信号	文字	信号	布板	信板	布板	信板	布板	信板	布板	信板
----- 始發信	01 第一砲車	司令部	シレ	1	□	砲兵大隊/射撃	7	□	観測セヨ	□	□
----- 通信終	02 第二砲車	步兵 (騎兵 等)	ア力	2	□	射撃修正ヲナセ	12	□	修正ヲ繼續セヨ	□	□
(---) ----- 分隊行	03 第三砲車	野砲兵 (砲兵 等)	ヤホ	3	□	射撃諸元宛コラス	13	□	偵察中隊の指示セ	□	□
(---) ----- 通信終	04 第四砲車	山砲兵	サホ	4	□	シ目標ニ對シ修正ヲ	14	□	ナセ	□	□
(---) ----- 通信終	05 準備中	重砲兵	シホ	5	□	次ノ目標ニ對スル	15	□	射撃修正ヲナセ	□	□
(---) ----- 通信終	06 試射中	高射砲兵	コホ	6	□	或ハ目標更換	16	□	(續テ新目標ニ對シ指示ヲ示ス)	□	□
(---) ----- 通信終	07 任務完了	砲重	シテ	7	□	次ノ目標ニ對スル	17	□	射撃修正ヲナセ	□	□
(---) ----- 通信終	08 方向指示	機砲	キカ	8	□	或ハ目標更換	18	□	(續テ新目標ニ對シ指示ヲ示ス)	□	□
(---) ----- 通信終	09 地上信号見込	飛行機	テヒ	9	□	次ノ目標ニ對スル	19	□	射撃修正ヲナセ	□	□
(---) ----- 通信終	10 砲撃中	氣球	キウ	10	□	或ハ目標更換	20	□	(續テ新目標ニ對シ指示ヲ示ス)	□	□
(---) ----- 通信終	11 砲撃中	列車	シヤ	11	□	第1次射撃準備(準備中)	21	□	暫ク待テ	□	□
(---) ----- 通信終	12 一砲射	女軍	ワレ	12	□	發射準備出來入	22	□	發射セリ	□	□
(---) ----- 通信終	13 齊射	散兵隊	サシ	13	□	觀測ヲ受セス	23	□	信号(倍音)受領	□	□
(---) ----- 通信終	14 射向指示	野砲兵	マセ	14	□	發射セリ	24	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	15 射向指示	鐵條網	テツ	15	□	信号(倍音)受領	25	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	16 射向指示	觀測所	カン	16	□	然(承和)(了解)	26	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	17 射向指示	(地点) 東方	(地面) ヒカ	17	□	然(承和)(了解)	27	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	18 射向指示	() 東北方	() ヒキ	18	□	然(承和)(了解)	28	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	19 射向指示	() 東南方	() ヒナ	19	□	然(承和)(了解)	29	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	20 射向指示	() 西方	() ニシ	20	□	然(承和)(了解)	30	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	21 射向指示	() 西北方	() ニキ	21	□	然(承和)(了解)	31	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	22 射向指示	() 西南方	() ニナ	22	□	然(承和)(了解)	32	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	23 射向指示	() 南方	() ミナ	23	□	然(承和)(了解)	33	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	24 射向指示	() 北方	() キタ	24	□	然(承和)(了解)	34	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	25 射向指示	() 正面	() メン	25	□	然(承和)(了解)	35	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	26 射向指示	() 前面	() マエ	26	□	然(承和)(了解)	36	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	27 射向指示	() 後方	() アト	27	□	然(承和)(了解)	37	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	28 射向指示	() 方向	() カタ	28	□	然(承和)(了解)	38	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	29 射向指示	() 24 (地面) 五	() 24 (地面) 五	29	□	然(承和)(了解)	39	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	30 射向指示	() 24 左方	() サラ	30	□	然(承和)(了解)	40	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	31 射向指示	() 24 右方	() ミキ	31	□	然(承和)(了解)	41	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	32 射向指示	午前	ゼ	32	□	然(承和)(了解)	42	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	33 射向指示	午後	ゴ	33	□	然(承和)(了解)	43	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	34 射向指示	五時二十分(一例)	五三〇	34	□	然(承和)(了解)	44	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	35 射向指示	十一時五分(一例)	一一五	35	□	然(承和)(了解)	45	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	36 射向指示	光頭(地面)ニアリ	セン(地面)	36	□	然(承和)(了解)	46	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	37 射向指示	後尾()ニアリ	コウ()	37	□	然(承和)(了解)	47	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	38 射向指示	集合セル	アツ	38	□	然(承和)(了解)	48	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	39 射向指示	集合中	アマ	39	□	然(承和)(了解)	49	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	40 射向指示	展開セル	テン	40	□	然(承和)(了解)	50	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	41 射向指示	展開中	テマ	41	□	然(承和)(了解)	51	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	42 射向指示	前進中	スム	42	□	然(承和)(了解)	52	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	43 射向指示	停止シアリ	テイ	43	□	然(承和)(了解)	53	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	44 射向指示	退却中	ヒタク	44	□	然(承和)(了解)	54	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	45 射向指示	陣地ヲ占領セル	チセ	45	□	然(承和)(了解)	55	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	46 射向指示	陣地ヲ占領中	チマ	46	□	然(承和)(了解)	56	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	47 射向指示	射撃中	シチ	47	□	然(承和)(了解)	57	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	48 射向指示	(地面)ニ於テ敵隊ノ距離	(地面)キヨ(米數)	48	□	然(承和)(了解)	58	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	49 射向指示	逆襲	キヤ	49	□	然(承和)(了解)	59	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	50 射向指示	成功	セイ	50	□	然(承和)(了解)	60	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	51 射向指示	不成功	フセ	51	□	然(承和)(了解)	61	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	52 射向指示	阻止セラル	ヨシ	52	□	然(承和)(了解)	62	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	53 射向指示	目標試射点ヨリ後	アト(米數)	53	□	然(承和)(了解)	63	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	54 射向指示	目標試射点ヨリ前	マエ(米數)	54	□	然(承和)(了解)	64	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	55 射向指示	目標ノ銃長	ツカ(米數)	55	□	然(承和)(了解)	65	□	然(承和)(了解)	□	□
(---) ----- 通信終	56 射向指示	女軍ノ水入ニハコレヲ前置ス	マン(米數)	56	□	然(承和)(了解)	66	□	然(承和)(了解)	□	□

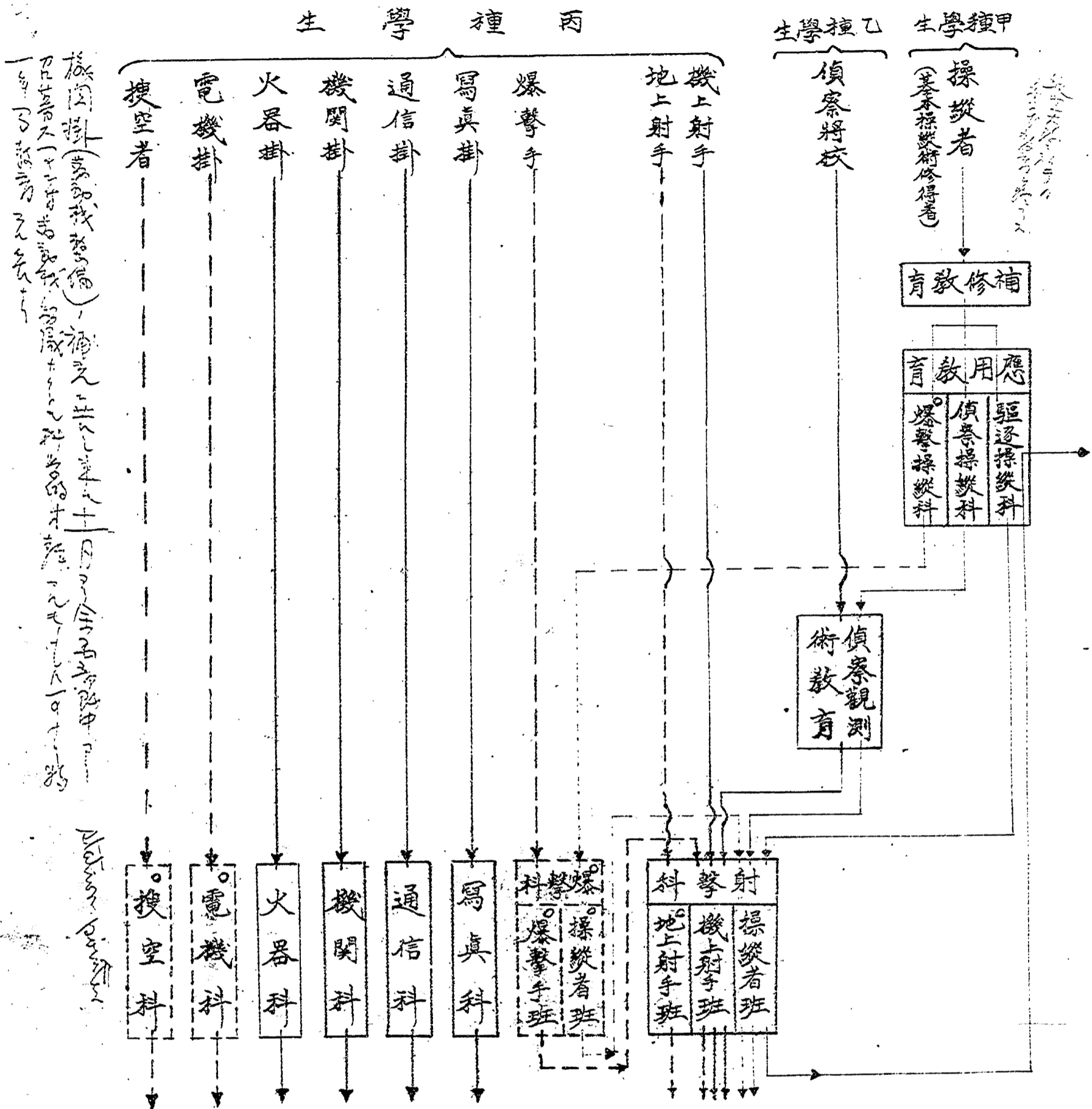
中島式飛行機、其ノ翼ノ傾斜者ノ目視、及ホス影響ヲ示セル表



$$x - y = A \tan(\alpha + \beta) - A \tan \beta$$

高 度 米	傾斜者位置ノ筆直線 下翼前ノナス角ニ対ス ル地面ノ長 米	傾斜者位置ノ筆直線 下翼後ノナス角ニ対ス ル地面ノ長 米	下翼ニヨリ地面ノ 遠近ニナル長 米
500	866	88	778
600	1040	106	934
700	1213	123	1090
800	1386	144	1242
900	1559	158	1401
1000	1732	176	1556
1100	1905	194	1711
1200	2079	212	1867
1500	2598	265	2333
1800	3125	318	2703
2000	3464	353	3111
2200	3811	388	3423
2500	4330	441	3889
2800	4850	494	4356
3000	5197	529	4668

陸軍航空學校教育系統概見圖



機上射手(爆撃機修得者) 補修教育(1) 1000時間飛行
 地上射手(爆撃機修得者) 補修教育(2) 1000時間飛行
 爆撃手(爆撃機修得者) 補修教育(3) 1000時間飛行
 写真掛(爆撃機修得者) 補修教育(4) 1000時間飛行
 通信掛(爆撃機修得者) 補修教育(5) 1000時間飛行
 機関掛(爆撃機修得者) 補修教育(6) 1000時間飛行
 火器掛(爆撃機修得者) 補修教育(7) 1000時間飛行
 電機掛(爆撃機修得者) 補修教育(8) 1000時間飛行
 捜空者(爆撃機修得者) 補修教育(9) 1000時間飛行

陸軍航空學校教育實施個所一覽表

科	目	位置
操	補修教育	所
縦	驅逐操縦科	所
術	偵察操縦科	澤
機	爆撃操縦科	澤
偵	偵察觀測術	發
寫	写真科	下志津
通	通信科	(偵察班)
射	射撃科	三重縣 明野原 (射撃班)
火	火器科(一部)	
火	火器科(一部)	
爆	爆撃科	
電	電機科	
捜	捜空科	未定

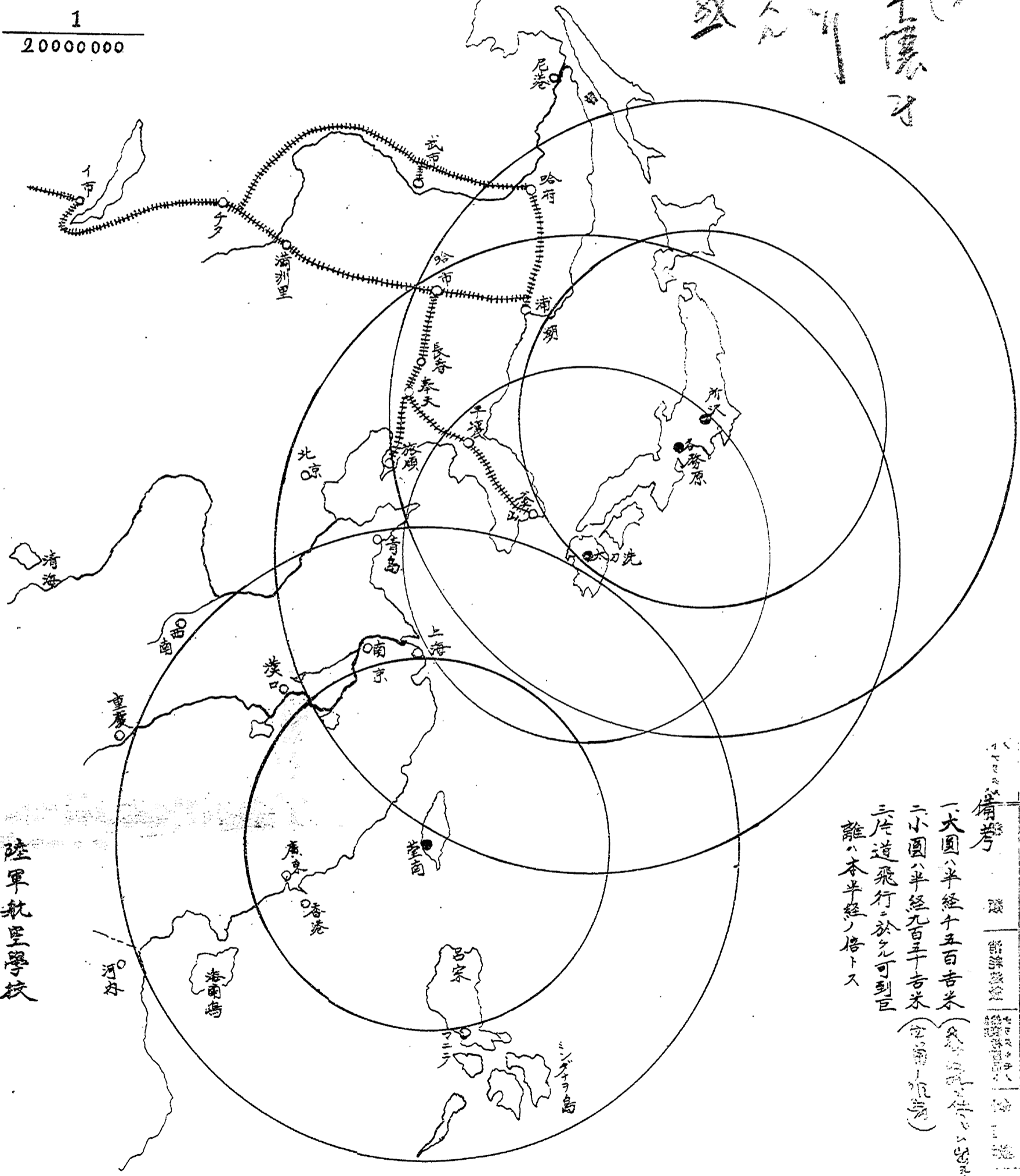
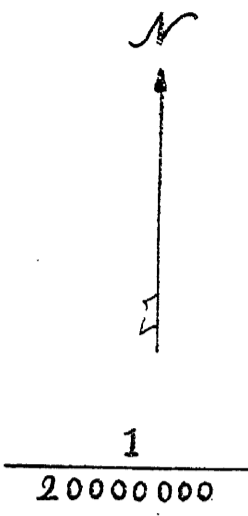
備考

○ヲ附セルモノ及點線ヲ以テ示セルモノハ未ダ實施スルニ至ラス

大正九年九月
陸軍航空學校

大飛行機ノ活動圈要圖

大飛行機ノ活動圈
 其ノ活動ノ半径
 一ノ大飛行機
 二ノ小飛行機
 三ノ道飛行機
 四ノ本半徑ノ倍トス



備考

機	半径	活動圈ノ直径	活動圈ノ面積
一ノ大飛行機	1500km	3000km	70685835km ²
二ノ小飛行機	900km	1800km	25446884km ²
三ノ道飛行機	300km	600km	2827433km ²
四ノ本半徑ノ倍トス	150km	300km	706858km ²

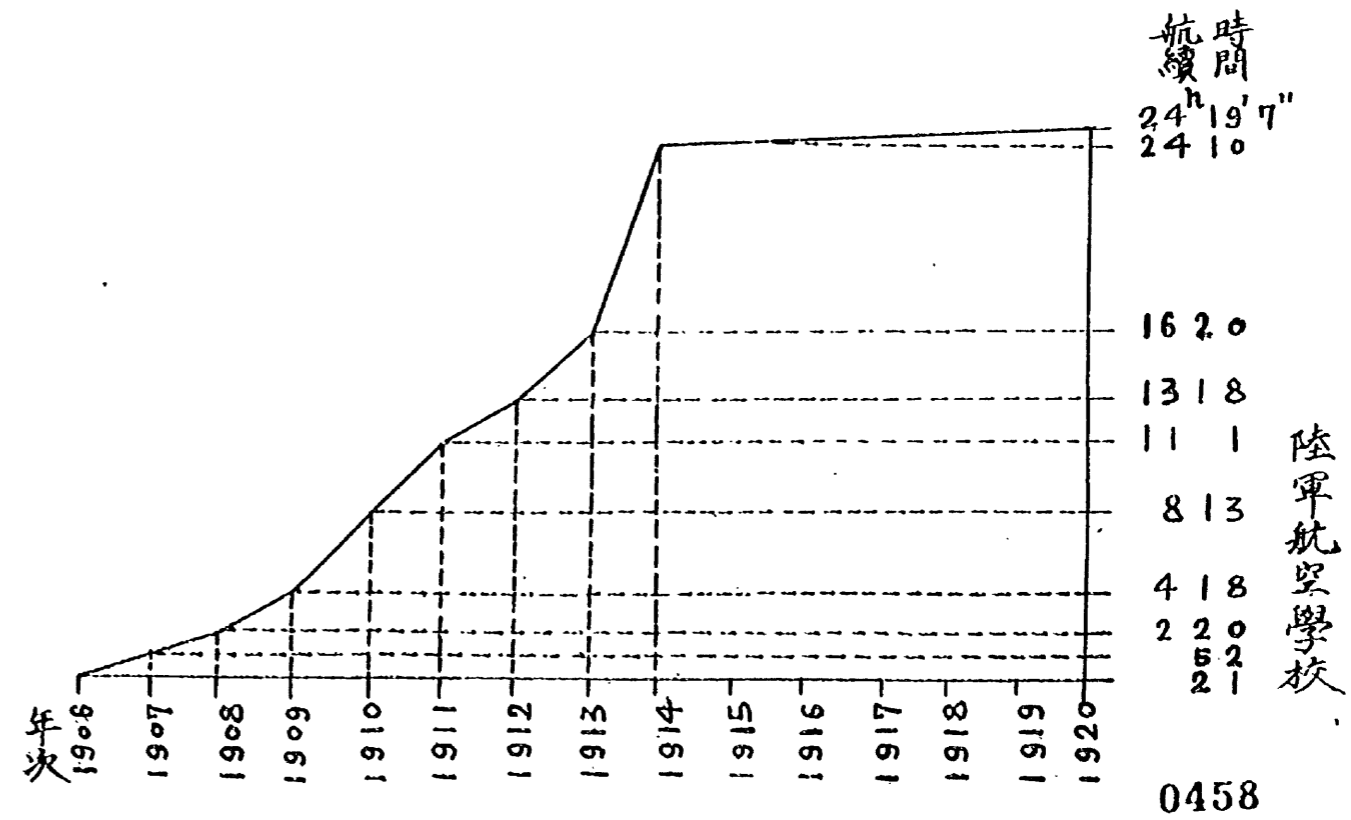
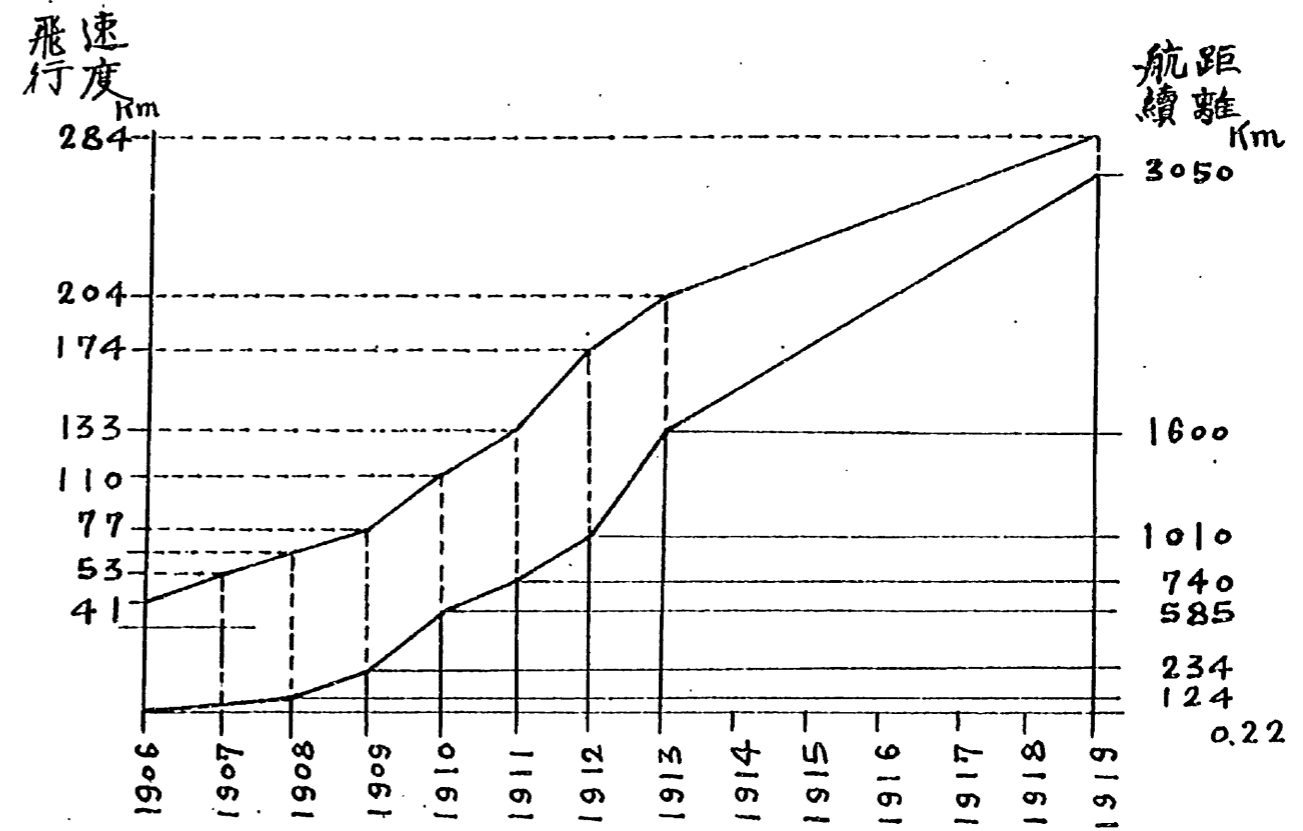
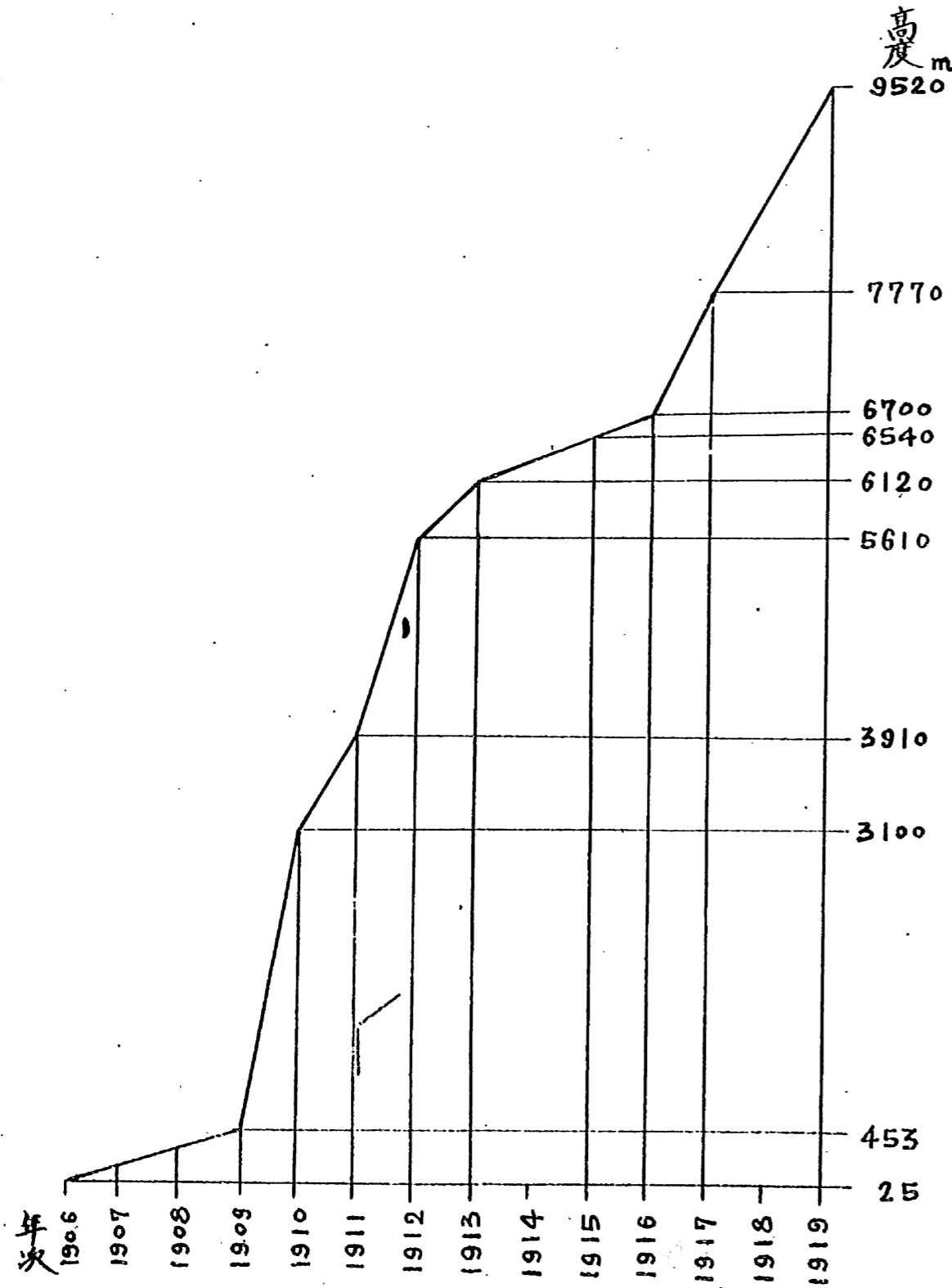
陸軍航空學校

列國新鋭飛行機諸元表

飛行機名	型式	座席数	發動機		水平速度		上昇速度		昇限度	航続時間	武装	搭載量	全備重量	任務	製作國名
			名稱	馬力	2000 ^m	4000 ^m	2000 ^m	4000 ^m							
(G. L. B.) GOURDOULESSEURE	C ₁	1	HISPANO 8 A B	200 ^{HP}	240 ^{Km}	225 ^{Km}	4.55	12.36	5900 ^m	2.15 ^h	1 ^{no}	264 ^{Kg}	833 ^{Kg}	戦闘	佛 國
MORANE	31C ₂	2	LIBERTY	400	215	203	7.26	17.21			3	318	1771	戦闘	
NIEUPORT	29C ₁	1	HISPANO 8 F B	320	200	190	4.35	9.88	7600	2.45 ^h	2	359	1106	戦闘	
SPAD (Ilememont)	20C ₁	1	△ 上	320	229	218	4.60	10.63	7600	2.40 ^h	2	259	1106	全上	
S. E. A	4C ₂	2	LORRAINE 12 D	433	205	199	6.18	16.09	7000	2.16 ^h	2	540	1002	全上	
BREGUET	17C ₂	2	RENAULT 12 K	420	213	199	7.06	19.49	6500	2.30 ^h	2	625	1841	全上	
BREGUET RATEAU	14A ₂	2	RENAULT 12 F ₂	320		191	7.71	15.76	7900	3.20 ^h		619	1674	偵察	
FARMAN	F60	12	SALMSON 9 Z	250x2	150				5000	12.00 ^h		1300	5000	爆弾	
SOPWITH Dauphin	C ₁	1	HISPANO 8 F B	320		219	5.27	12.29	7900	2.00 ^h	2	339	1037	戦闘	
MARTINSYDE	C ₁	1	△ 上	320		216	4.56	11.39	8000 8200	2.00 ^h	2	339	1118	全上	
DEHAVILLAND	4	2	ROLLS-ROYCE	375	220		5.12		6705	3.45 ^h		485	1575	偵察	英 國
HANDLEYPAGE	V		△ 上	350x4								4000	11200	爆弾	
VICKERS	Vimy		ROLLS-ROYCE	350x2	155					18.00 ^h		400	6000		
P Y		1	IFV 6	260	226		4.30	12.15		1.40 ^h	2	225	906	戦闘	伊 國
S V		1	IFV 6	260	235		4.15				2	325	1050	偵察	
CAPRONI			FIAT	300x3	135				3000	4.30 ^h		2550	6150	爆弾	
SIA	9. B	2	FIAT A14	685	200		8.00	19.30		2.30 ^h	3	650	3050	全上	米 國
LEPEREC		2	U. S. 12A	360	209.20		6.00		6461			539	1658		
U. S. B. I		2	HISPANO	300	181.90				6461			485	1320		
N C	4		LIBERTY	400x4	155					16.00 ^h		5400	12620		

近々佛國の飛行機が著しく

萬國飛行新記錄進步概況



飛行機用無線電信機一覽表

考 備	機 信 受 送		機 信 受		機 信 送					種 類	方 式	電 源	全 重 量	波 長 (米)	通 信 距 離 (海 里)	使 用 区 分	備 考	
	機	信	受	送	機	信	受	送	機									信
(一) 送ハ受信(受)ハ送信(直)ハ直接發勵式(間)ハ間接發勵式ヲ表ス (二) 空中線ニハ飛行機上ヨリ或下スル單一線ヲ用ヒ平衡容量ニハ機体、全局部全部ヲ電氣的ニ接続シテ用ユ (三) Y・U・K及S型ニ在リテハ發電機ハ交連皮線機又ハ木製螺旋機ニヨリ飛行、際ノ風力ニヨリ回轉セラレ或ハ飛行機ノ發動機ニ接続シテ運轉セラル 木製ニテハ交連皮線機ヲ使用 (四) Y・U及K型ニ在リテハ回轉火花路ノ音數ヲ正確ニ交シ送信音調ヲ變化シ得、又間接發勵式ニ於テハ回轉火花路ノ外普通火花路ヲ使用スルコトヲ得	E10																	
	型送受信機	全	右	全	右													
	E10型送受信機	全	右	全	右													
	第4号型受信機	全	右	全	右													
	第2号型受信機	全	右	全	右													
	Y型送信機																	
	U型送信機																	
	K型送信機																	
	S型送信機																	
	I型送信機																	

対航空機用無線電信機一覽表

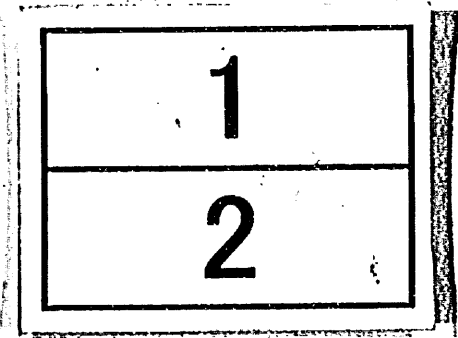
考 備	附	機 信 送					機 信 受		種 類	方 式	電 源	全重量(送)	波 長(米)	通 信 距 離 (海 里)	使 用 区 分	備 考		
		E3a	E3b	E3	E706a	E70	砲兵用	I型									A1型	
(一) (送)ハ送信機(受)ハ受信機ト表ハス (二) 本表中ノ通信距離ハ何レモ同種ノ送受信機間ニ於ケル地上通信ノ場合トス(但砲兵用E70型ハ飛行機ニ対スルモノトス)	3cu 擴大器	乙種移動式 送受信機	E3a 型送受信機	E3b 型送受信機	E3 型送受信機	E706a 型送受信機	E70 型送受信機	砲兵用	I型 受信機	A1型 受信機	種 類	方 式	電 源	全重量(送)	波 長(米)	通 信 距 離 (海 里)	使 用 区 分	備 考
	真空管式	兼弱電式 (兼火花式) 表弱電式 (兼火花式)	公 右	公 右	公 右	公 右	公 右	公 右	特種電波式 (兼真空管式) 兼弱電式 (兼火花式) 兼弱電式 (兼火花式)	兼弱電式 (兼火花式)	兼弱電式 (兼火花式)	三〇〇ワット 蓄電池	四〇〇ワット 蓄電池	五・二五	一〇〇 一・六〇	一〇〇 一・六〇	野砲兵又ハ重砲兵隊 及師團司令部對 空受信所用 野砲兵又ハ重砲兵隊 對空受信所用	本機ハ五トシテY・U・X・K型送受信機ヨリ通信ヲ受ケルニ用ヒラル 空中線ハ高サ七米長サ一・五米ニシテV型トス 本機ハI型送受信機ニ對スル受信用トス 空中線ハ高サ十米長サ三米ニシテ深敷ニテT型ニシテ地堀ヲ以テ接地ス
	真空管式	兼弱電式 (兼火花式) 交流發電機	公 右	公 右	三〇〇ワット 蓄電池 又ニ交流發電機 六〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	兼弱電式 (兼火花式)	兼弱電式 (兼火花式)	三〇〇ワット 蓄電池	四〇〇ワット 蓄電池	五・二五	一〇〇 一・六〇	一〇〇 一・六〇	野砲兵又ハ重砲兵隊 對空受信所用	本機ハ五トシテY・U・X・K型送受信機ヨリ通信ヲ受ケルニ用ヒラル 空中線ハ高サ七米長サ一・五米ニシテV型トス 本機ハI型送受信機ニ對スル受信用トス 空中線ハ高サ十米長サ三米ニシテ深敷ニテT型ニシテ地堀ヲ以テ接地ス	
	真空管式	兼弱電式 (兼火花式) 交流發電機	公 右	公 右	三〇〇ワット 蓄電池 又ニ交流發電機 六〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	兼弱電式 (兼火花式)	兼弱電式 (兼火花式)	三〇〇ワット 蓄電池	四〇〇ワット 蓄電池	五・二五	一〇〇 一・六〇	一〇〇 一・六〇	野砲兵又ハ重砲兵隊 對空受信所用	本機ハ五トシテY・U・X・K型送受信機ヨリ通信ヲ受ケルニ用ヒラル 空中線ハ高サ七米長サ一・五米ニシテV型トス 本機ハI型送受信機ニ對スル受信用トス 空中線ハ高サ十米長サ三米ニシテ深敷ニテT型ニシテ地堀ヲ以テ接地ス	
	真空管式	兼弱電式 (兼火花式) 交流發電機	公 右	公 右	三〇〇ワット 蓄電池 又ニ交流發電機 六〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	三〇〇ワット 蓄電池	兼弱電式 (兼火花式)	兼弱電式 (兼火花式)	三〇〇ワット 蓄電池	四〇〇ワット 蓄電池	五・二五	一〇〇 一・六〇	一〇〇 一・六〇	野砲兵又ハ重砲兵隊 對空受信所用	本機ハ五トシテY・U・X・K型送受信機ヨリ通信ヲ受ケルニ用ヒラル 空中線ハ高サ七米長サ一・五米ニシテV型トス 本機ハI型送受信機ニ對スル受信用トス 空中線ハ高サ十米長サ三米ニシテ深敷ニテT型ニシテ地堀ヲ以テ接地ス	

航空機用写真機諸元一覽表

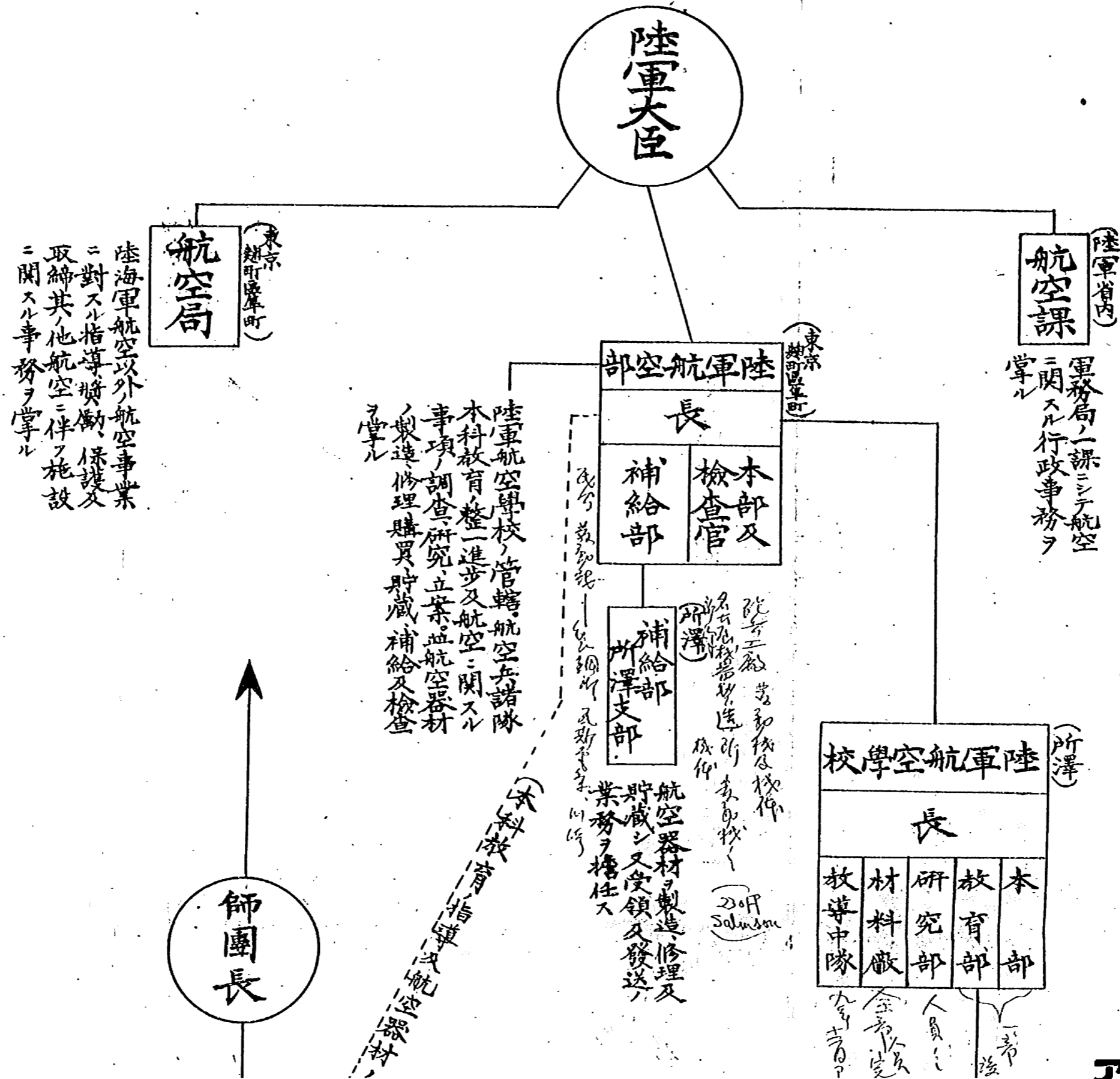
備考	一系二十冊	五十冊	廣角度		二十六冊	オート プリー	手持		種類ノ機	寫眞	
			二十六冊	廣角度			二十六冊	廣角度		重量(全機)	重量(巻)
(一) (縦)トハ飛行機ノ前進方向(横)トハ之レニ直角方向ノ意ナリ (二) 飛行方向ニ連續撮影ヲナス場合ニハ乾板ノ三分ノ一ヲ飛行方向ニ直角連續撮影ヲ行フ 場合ニ約四分ノ一ヲ重ネ合スモノトシテ計算セリ		27.79	18.27				6.96		重量(全機) (箱一合板入)	重量(巻)	
		9.10	9.10				2.18		倉板入	一	
	右同	右同	横三冊	縦八冊	横六冊	縦三冊	横十三冊	縦六冊	サ大ノ板	乾	
	右同	右同	三乾板 個倉入	一通 常	共三 乾板 倉入	三打 入	三乾 板倉	一通 常	表板乾行携	乾	
		6,000 ^m	2,500 ^m	1,300 ^m	1,300 ^m	1,300 ^m	1,300 ^m	1,300 ^m	度 高	梯	大五千分ノ一ニ應スル
	右同	右同	横 1,200 ^m	縦 700 ^m	縦 650 ^m	横 900 ^m	横 650 ^m	横 650 ^m	枚 -	撮	
	右同	右同	長 7,500 ^m	中 1,200 ^m	長 6,000 ^m	中 900 ^m	長 7,500 ^m	中 650 ^m	枚二十	影	
	右同	右同	長 7,500 ^m	中 2,100 ^m			長 7,500 ^m	中 1100 ^m	枚二十	影	
		5,000 ^m	2,600 ^m	2,600 ^m	2,600 ^m	2,600 ^m	2,600 ^m	2,600 ^m	度 高	梯	大一万分ノ一ニ應スル
		右同	横 2,400 ^m	縦 1,800 ^m	縦 1,300 ^m	横 1,800 ^m	横 1,300 ^m	横 1,300 ^m	枚 -	撮	
		右同	長 15,000 ^m	中 2,400 ^m	長 12,000 ^m	中 1,800 ^m	長 15,000 ^m	中 1,300 ^m	枚二十	影	
		右同	長 15,000 ^m	中 4,200 ^m			長 15,000 ^m	中 2,200 ^m	枚二十	影	
		陸地細部 偵察ニ 有使用	一般偵察 ニ 有使用	廣地域 撮影ニ 有使用	廣地域 撮影ニ 有使用	廣地域 撮影ニ 有使用	廣地域 撮影ニ 有使用	廣地域 撮影ニ 有使用	飛行機 後送度	分	用使

陸軍航空學校偵察班

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

本邦陸軍航空機關係系統圖解



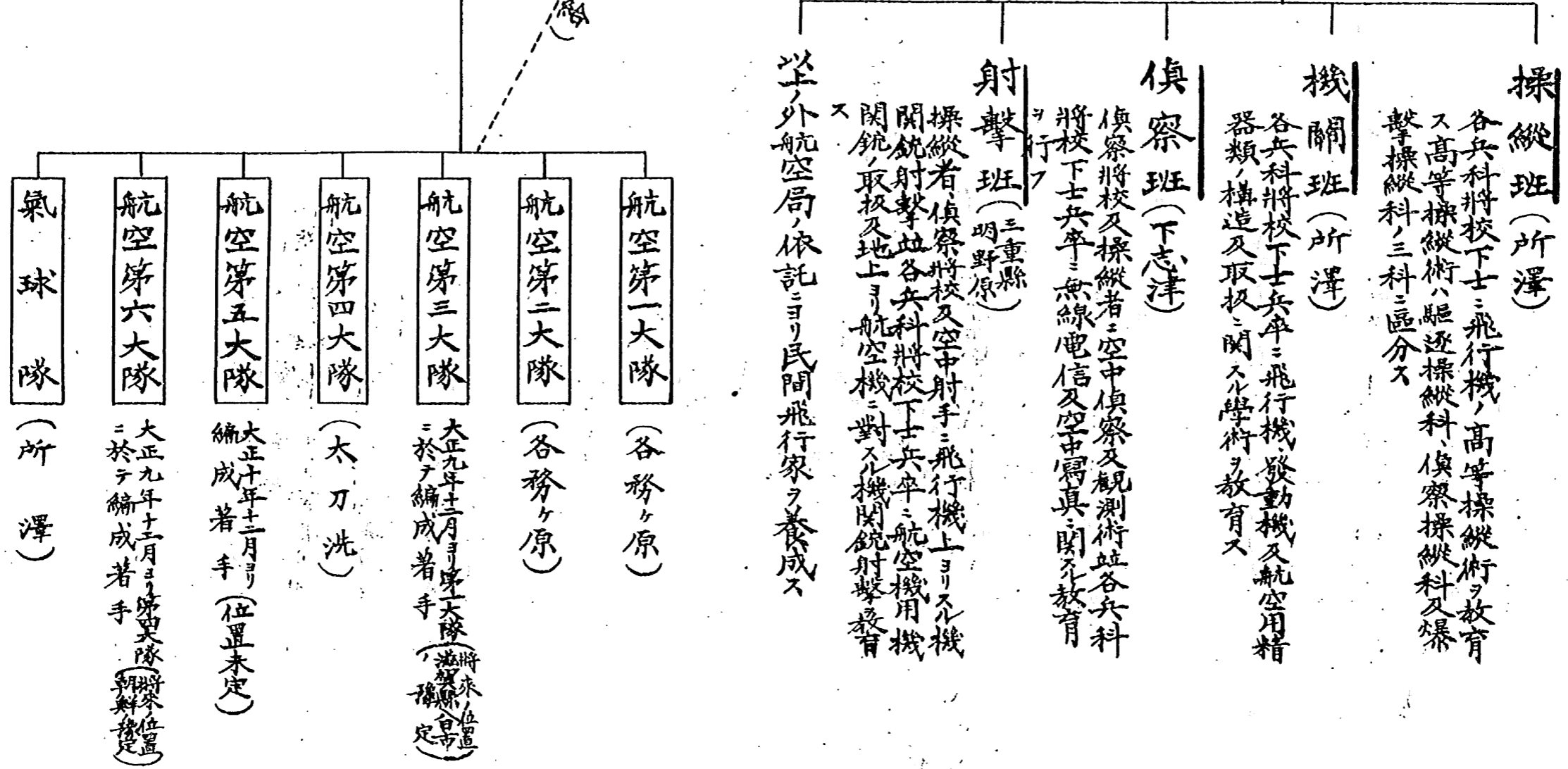
圖解

大正九年九月十日
陸軍航空部

陸軍航空學校				
長				
本部	教育部	研究部	材料廠	教導中隊
人員	人員	人員	人員	人員

航空器材製造修理及貯蔵シ又受領及發送ノ業務ヲ擔任ス

師團長



操縱班 (所澤)
各兵科將校下士飛行機、高等操縱術ヲ教育ス
又高等操縱術ハ、驅逐操縱科、偵察操縱科及爆撃操縱科ニ科ニ區分ス

機關班 (所澤)
各兵科將校下士兵卒ニ飛行機、發動機及航空用精器類、構造及取扱ニ関スル學術ヲ教育ス

偵察班 (下志津)
偵察將校及操縱者ニ空中偵察及觀測術並各兵科將校下士兵卒ニ無線電信及空中寫真ニ關スル教育ヲ行フ

射擊班 (明野原)
操縱者偵察將校及空中射手ニ飛行機上ヨリノ機關銃射擊並各兵科將校下士兵卒ニ航空機用機關銃取扱及地上ノ航空機ニ對スル機關銃射擊教育ヲ行フ

並、外航空局、依託ヨリ民間飛行家ヲ養成ス

航空第一大隊 (各務ヶ原)

航空第二大隊 (各務ヶ原)

航空第三大隊 (大正九年十一月、第一隊ヲ編成、將來、豫定)

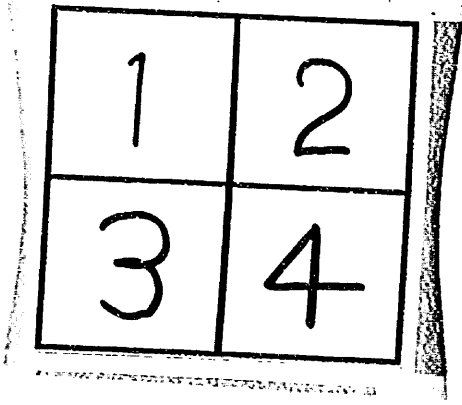
航空第四大隊 (太刀洗)

航空第五大隊 (大正十年三月、編成、著手、位置未定)

航空第六大隊 (大正九年十一月、第一隊ヲ編成、著手、將來、豫定)

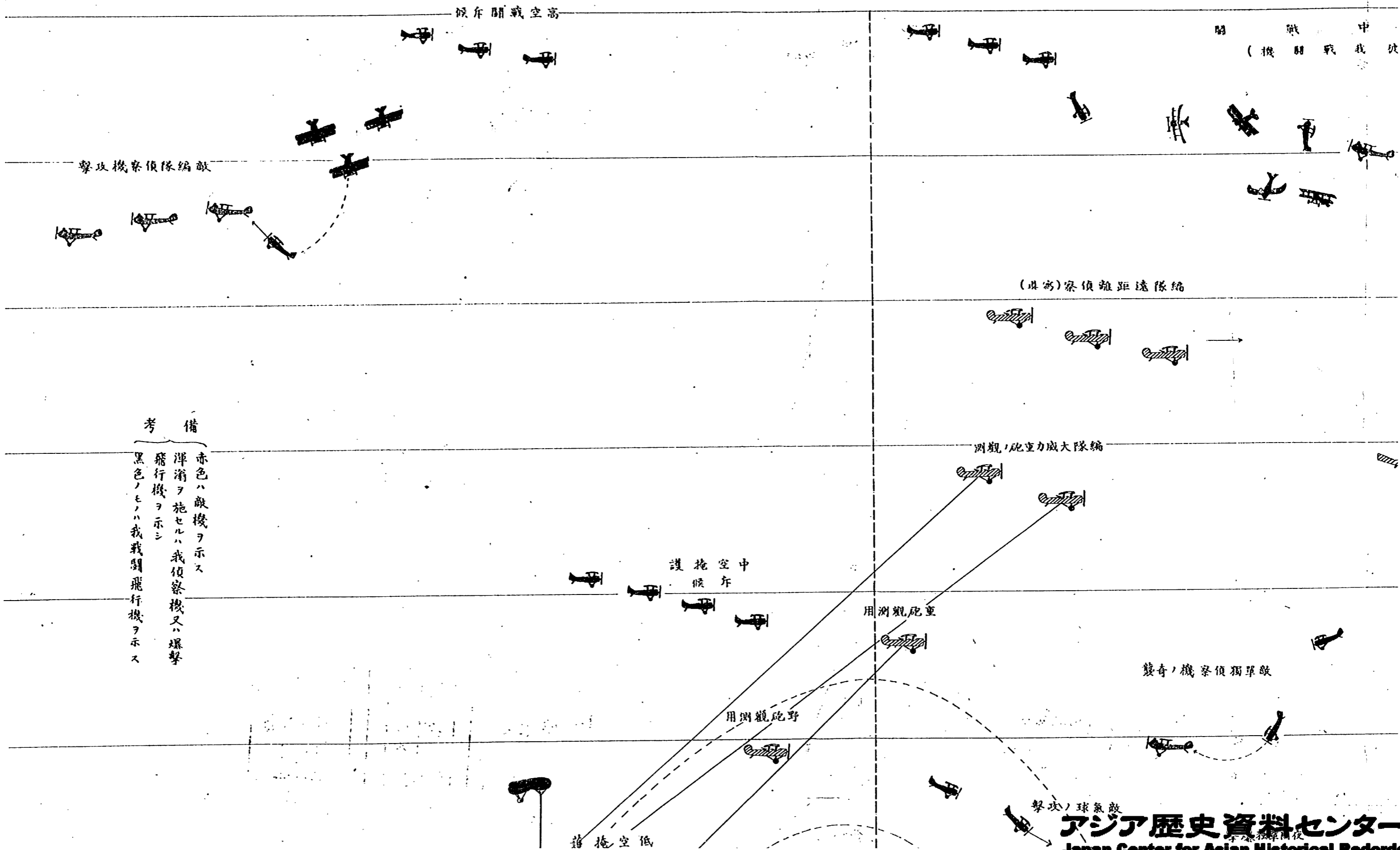
氣球隊 (所澤)

分割撮影ターゲット

<p>分割した 部分の 撮影順序</p>	
<p>分割撮影 した理由</p>	<p>A 3 版 以 上 の た め</p>
<p>上記のとおり分割撮影した事を証明する。</p>	

0464
0465
0466
0467

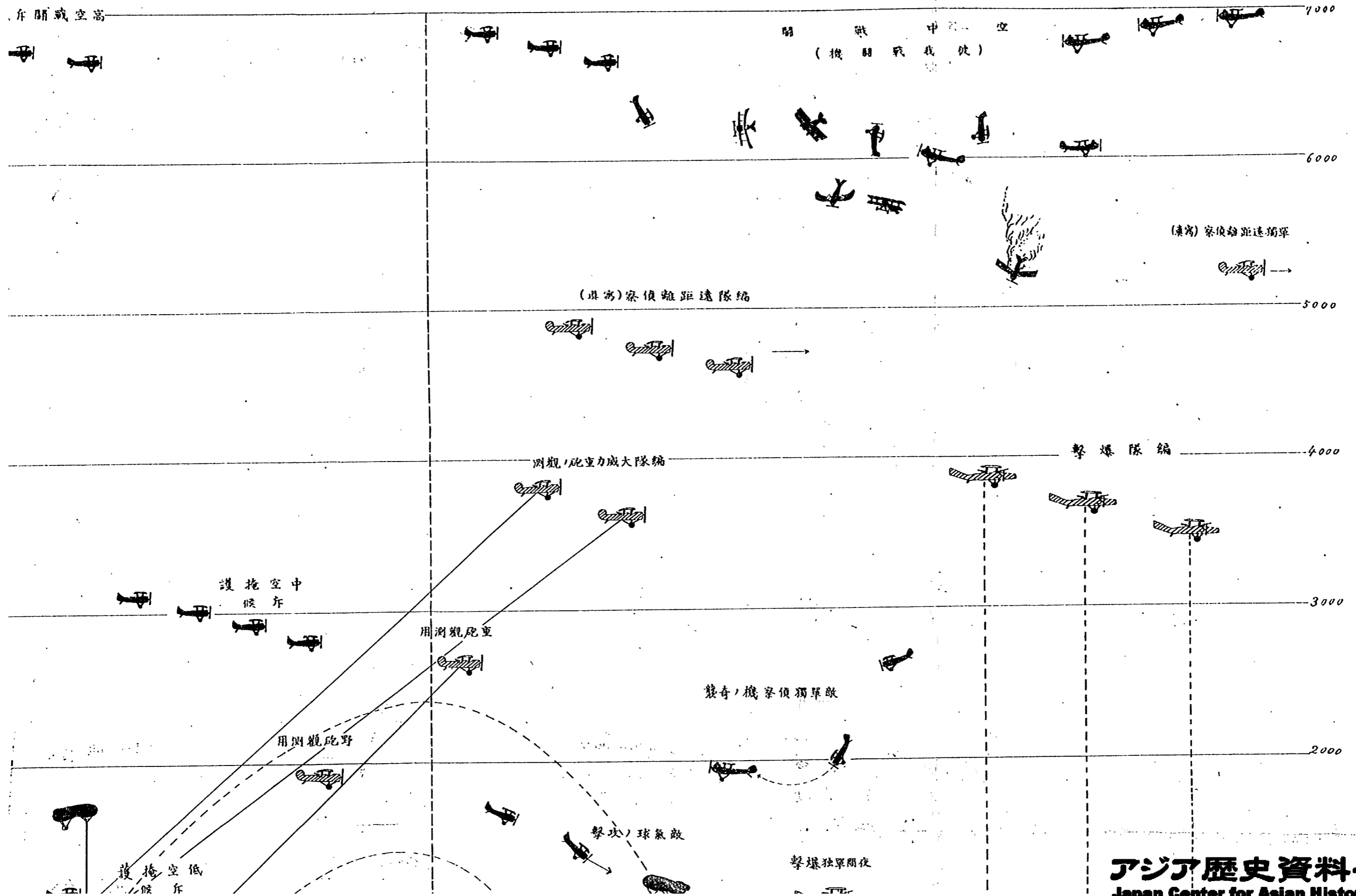
各種飛行機任務圖解



考 備

赤色ハ敵機ヲ示ス
洋滴ヲ施セルハ我偵察機又ハ爆撃
飛行機ヲ示シ
黒色ノモノハ我戦闘飛行機ヲ示ス

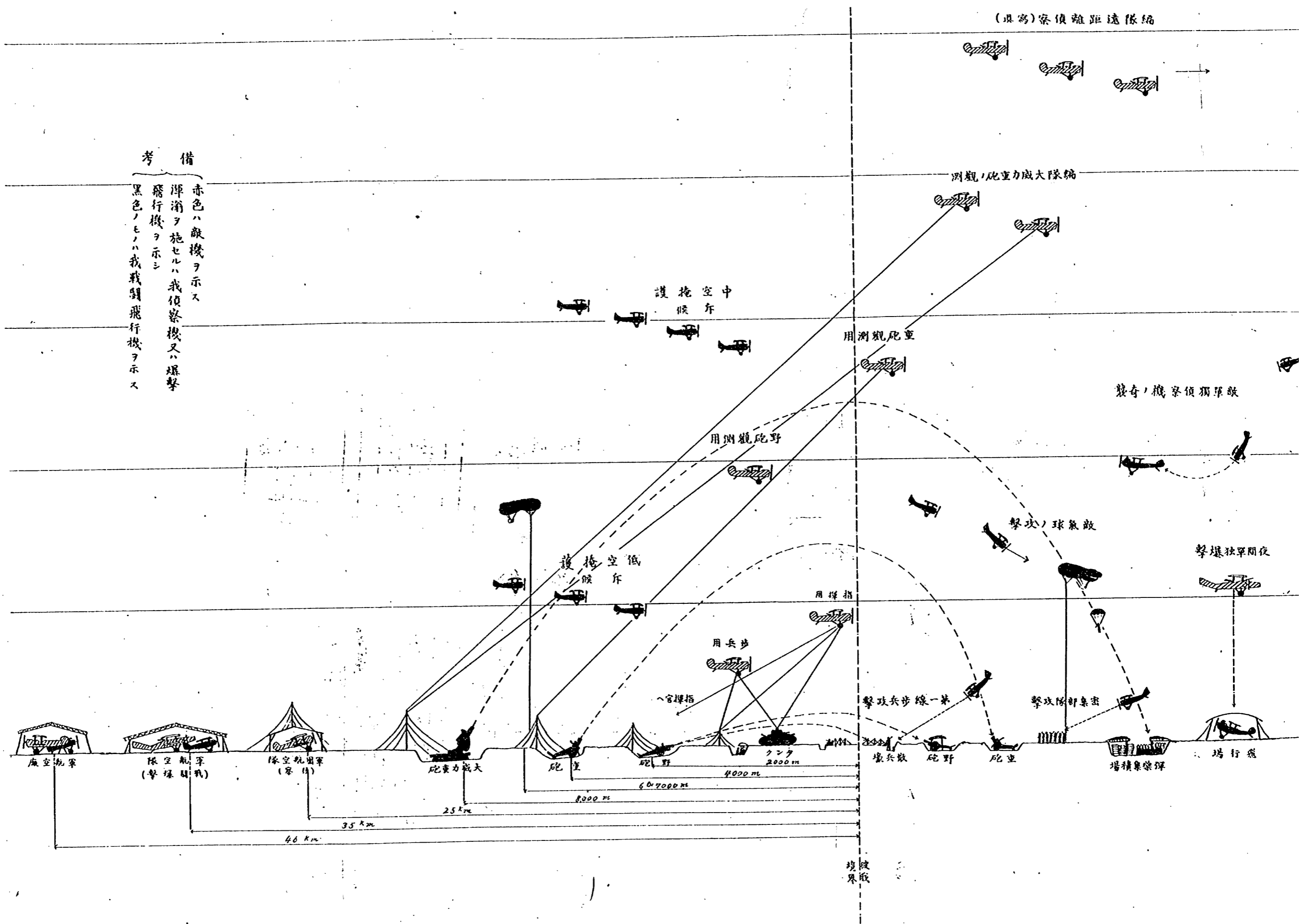
各種飛行機任務圖解

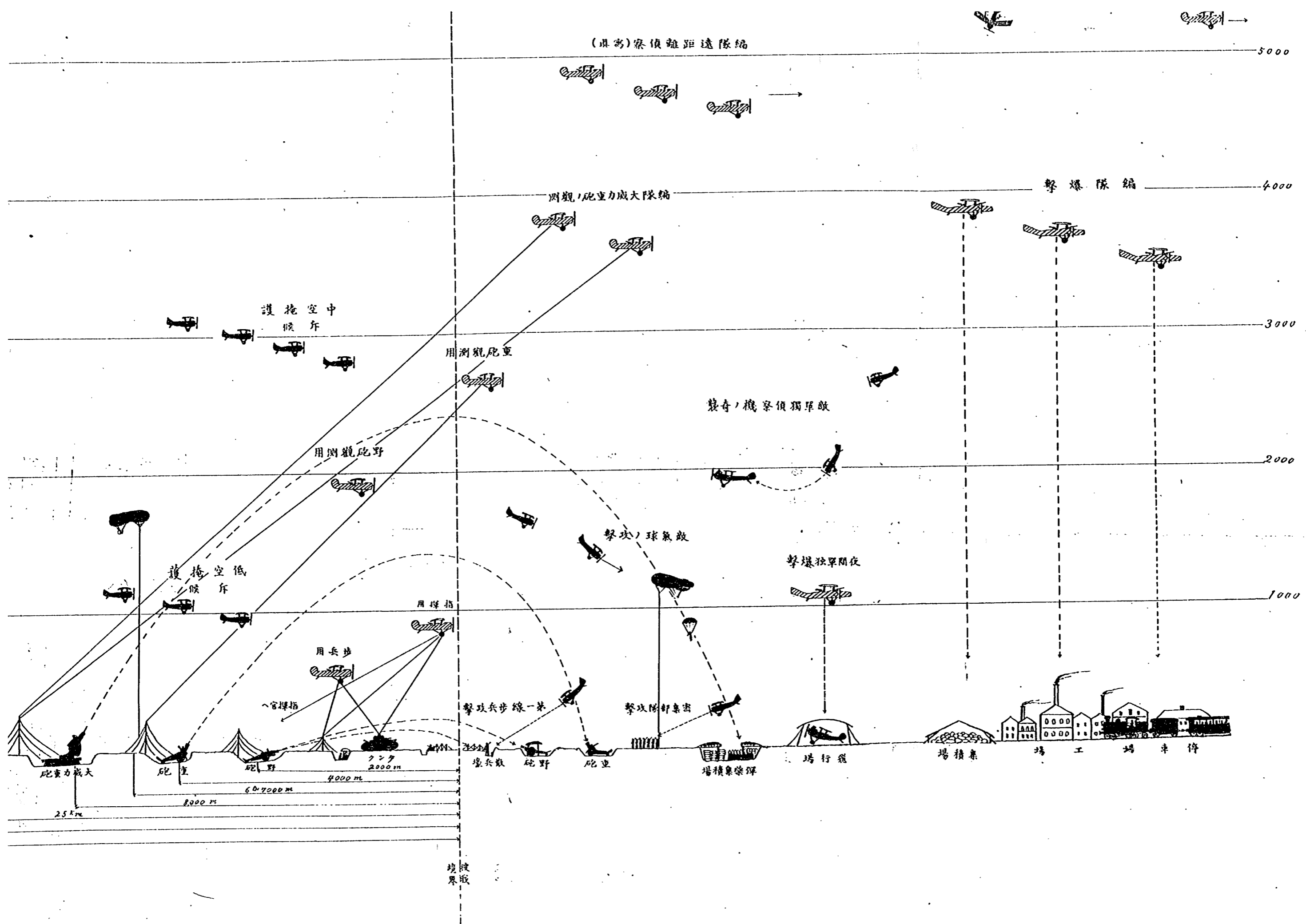


(真高) 察偵離距離隊編

考 備

赤色ハ敵機ヲ示ス
洋滴ヲ施セルハ我偵察機又ハ爆撃
飛行機ヲ示シ
黒色ノモノハ我戦闘飛行機ヲ示ス





第五 連合演習ニ關スル説明

其一 演習ノ目的

輕易ナル陣地攻撃ニ於ケル歩砲兵及飛行機ノ連合演習ヲ行ヒ以テ歩
兵操典草案ノ研究ニ資スルニ在リ

其二 演習ノ結構

一 混成約一旅團ノ敵ハ昨十六日夕以來大日山宇那谷ノ線ニ陣地ヲ
台領シアリ

二 師團ハ本十七日早朝千葉北方地區ニ達シ正午頃ヨリ此敵ヲ攻撃
スルニ決シ附圖第一ノ如キ攻撃部署ヲ爲セリ

注意

演習部隊ハ歩兵第一旅團野砲兵第一大隊及偵察飛行中隊ノ一部トス

其三 演習經過ノ概要並主要著眼事項(附圖第一參照)

説明ノ便宜上全演習經過邊左ノ四時期ニ分ツ但第一時期ハ演習時間
ノ關係上實施セズ

第一時期 攻撃準備ヨリ歩兵ノ攻撃前進開始迄

第二時期 歩兵ノ攻撃前進開始ヨリ射撃開始迄

第三時期 射撃開始ヨリ突撃準備迄

第四時期 突撃實施ヨリ追撃迄

1. 第一時期 (攻撃準備ヨリ步兵攻撃開始迄)

一、適切ナル協同動作ヲ爲サシカ爲步兵第一聯隊長及砲兵第一大隊長ハ萩ノ台附近ニ會同シテ所要ノ協定ヲナシ且通信連絡ノ方法ヲ講ス (操典草案一ノ二四二二一六)

二、師團長ハ砲兵ヲシテ歩兵カ攻撃準備ノ位置ヨリ前進ヲ起スト同時ヨリ有效ナル援助射撃ヲ爲サシメソカ爲正午砲兵ニ射撃開始ヲ命ス但歩兵ニハ攻撃前進ヲ命セス (操典草案二ノ三三)

三、砲兵用飛行機ハ砲兵第二大隊カ大日山西北方地區ニ遊撃シアル敵砲兵ニ對シテ行フ射弾ノ觀測ニ任ス (操典草案二ノ八)

四、歩兵第一聯隊長ハ狙撃砲ノ砲數少キト適當ナル陣地ヲ求メ難キ等ノ關係上自己ノ直轄トシ使用スルヲ不適當ト認メ第一線兩大隊ニ一門宛分屬ス (操典草案一ノ三三五)

2. 第二時期 (歩兵攻撃前進開始ヨリ射撃開始迄)

師團長ハ午後〇時三十分砲兵ヨリ敵砲兵ニ對スル射撃修正終リタル報告ヲ受ケタルヲ以テ歩兵ニ攻撃前進ヲ命ス (操典草案二ノ三三)

二

步兵第一聯隊、午後〇時三十分稍、過キ攻撃前進ヲ起シ、
步兵第一大隊ハ凹地ヲ利用シテ、藪ノ台、北方凹地ニ進出シ、展開ス。爾
後ノ前進ハ、敵砲兵ヨリ有テナル射撃ヲ受クル虞レアルヲ以テ、凹地
ヲ出ツル時ヨリ各中隊ハ、疎開隊形ヲ以テス。

步兵第二大隊ハ、森林ヲ利用シ、舊長沼、藍的北方凹地ニ進出ス。爾後ノ
前進ハ、未タ利用シ得ル地物アルヲ以テ、一部ノミ、疎開隊形ヲ以テス。
大隊、舊池ノ上、藍的附近ニ達スルヤ、展開ヲ行フ。(操典草案一ノ二〇、二一、二七)

三

砲兵第一大隊ハ、曩ニ修正シタル諸元ヲ以テ、最モ有效ナル射撃ヲ
敵砲兵ニ加ヘ、以テ步兵ノ攻撃前進ヲ掩護ス。又、其一部ヲ以テ、步兵第
一聯隊長ト協定シタル地點ニ對シ、障碍物ノ破壊ニ着手ス。(操典草案一ノ三六)

四

步兵用及指揮官用飛行機ハ、敵情ヲ偵察シ、友軍ノ状態ヲ視察シ、要
スレハ、第一線部隊ト高級指揮官間若ハ、第一線部隊相互間ノ連絡ニ
任ス。(操典草案一ノ三八)

五

第一線步兵ハ、概シテ中藍的及舊池ノ上、藍的北方凹地附近ノ線ニ
於テ、半小隊ヲ四歩ノ間隔ニ散開セシメ、次テ射撃ヲ開始ス。(操典草案一ノ二八)

八 第三時期 (射撃開始ヨリ)
(突撃準備迄)

二二

- 一 歩兵第一大隊ハ一部ヲ以テ動的牽引所方向ヨリ主力ヲ以テ小深森方向ヨリ敵ヲ包圍シ攻撃ス又歩兵第二大隊モ勉メテ敵ヲ包圍スル如ク攻撃ス(操典草案二ノ三三)
- 二 砲兵第一大隊長ハ歩兵ト密接ニ協同セシムル爲舊堡壘附近ニアリシ第三中隊ヲ舊池ノ上監的附近ニ進出セシム(操典草案二ノ三九)
- 三 歩兵第一聯隊長ハ舊池ノ上監的附近ニ進出シタル砲兵第三中隊トノ間ニ電話ヲ架設シ且傳令ヲ配置シ特ニ此砲兵ト密接ニ協力シテ攻撃ノ進捗ヲ圖ル(操典草案一ノ二四三、二四六)
- 四 歩兵第一大隊ノ狙撃砲ハ下志津敵舎南側ニ同第二大隊ノ狙撃砲ハ六方岡附近ニ陣地ヲ占領シ敵ノ機關銃ノ位置ヲ求メテ射撃ス歩兵第一聯隊長ハ狙撃砲ノ射撃シ得サル地區ヲ砲兵第一大隊ニ通報シ敵機關銃及側防砲ノ制壓ニ關シ協定ヲナス(操典草案一ノ二四〇、二四三、二四六)
- 五 歩兵第一大隊長ハ第一線敵前ニ三百米ニ達スルヤ機關銃中隊ヲ動的牽引所附近ニ進出セシメ敵陣地ヲ側射セシム是ヨリ先キ歩兵第二中隊長ハ小深森附近ニ達スルヤ輕機關銃ヲ小队ニ分屬シ戦闘ニ参加セシム(操典草案一ノ二四一、同附録三)

六、新ニ敵砲兵二門宇那谷東端ニ現出シ我歩兵ヲ側射シ損害大ナルヲ以テ歩兵第一聯隊長ハ此砲兵ヲ射撃スヘク砲兵第三中隊長ニ要

求ス(操典草案二九〇)
七、歩兵第二大隊長ハ小數ノ敵兵ト擬兵トヲ配置シアリシ塚見岡附近ノ敵ノ偽陣地ヲ奪取シ益々敵ニ近迫ス(操典草案二八三)

八、歩兵第一聯隊長ハ第三大隊(一中隊欠)ヲ五號林方面ニ増加シ突撃ヲ準備ス

二、第四時期(突撃實施)

一、歩兵ハ敵障碍物ニ對シ概テ通路ノ間諷ヲ終ルヤ直ニ突撃ヲ敢行ス此際砲兵ハ最モ緊密ニ協力シ突撃ノ成果ヲ完フル如クス
飛行機ハ敵情ノ變化ニ注意シ且爲シ得レハ戦闘ニ參加ス

(操典草案二四四二四)

二、敵ヲ撃退スルヤ歩兵ハ射撃ト脚力トヲ併用シテ敵ヲ急追シ殲滅ス

(操典草案一六九二九二一〇)

三、砲兵第三中隊ハ歩兵敵陣地ヲ奪取スルヤ直ニ大日山ニ陣地ヲ變換シ敗退スル敵ヲ射撃シ且逆襲ヲ阻止ス尚小砲兵第一大隊ノ主力

二三

モ遠ニ小深台大日山ノ線ニ向ヒ陣地ヲ變換ス（操典草案ニテ記ス）

其四 雜件

一 本演習間左ノ諸件ニモ著意シ研究セラレタシ

1. 信號用ニ用ナル打上煙火信號拳銃布板ノ用法

2. 演習ヲ實際的ナラシムル目的ヲ以テ發案セラレタル擬砲煙ノ用

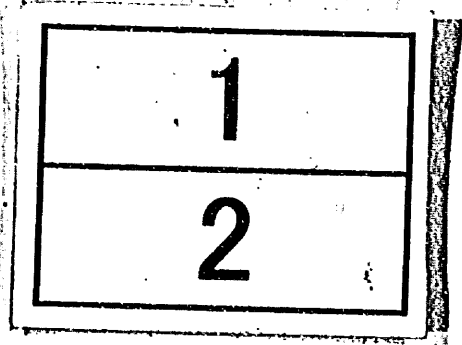
法

3. 塚見岡附近ノ陣地ニ設テタル偽裝

二 演習部隊ノ通信網ハ附圖 第二ノ如ク又連絡ノ爲特ニ規定シタル

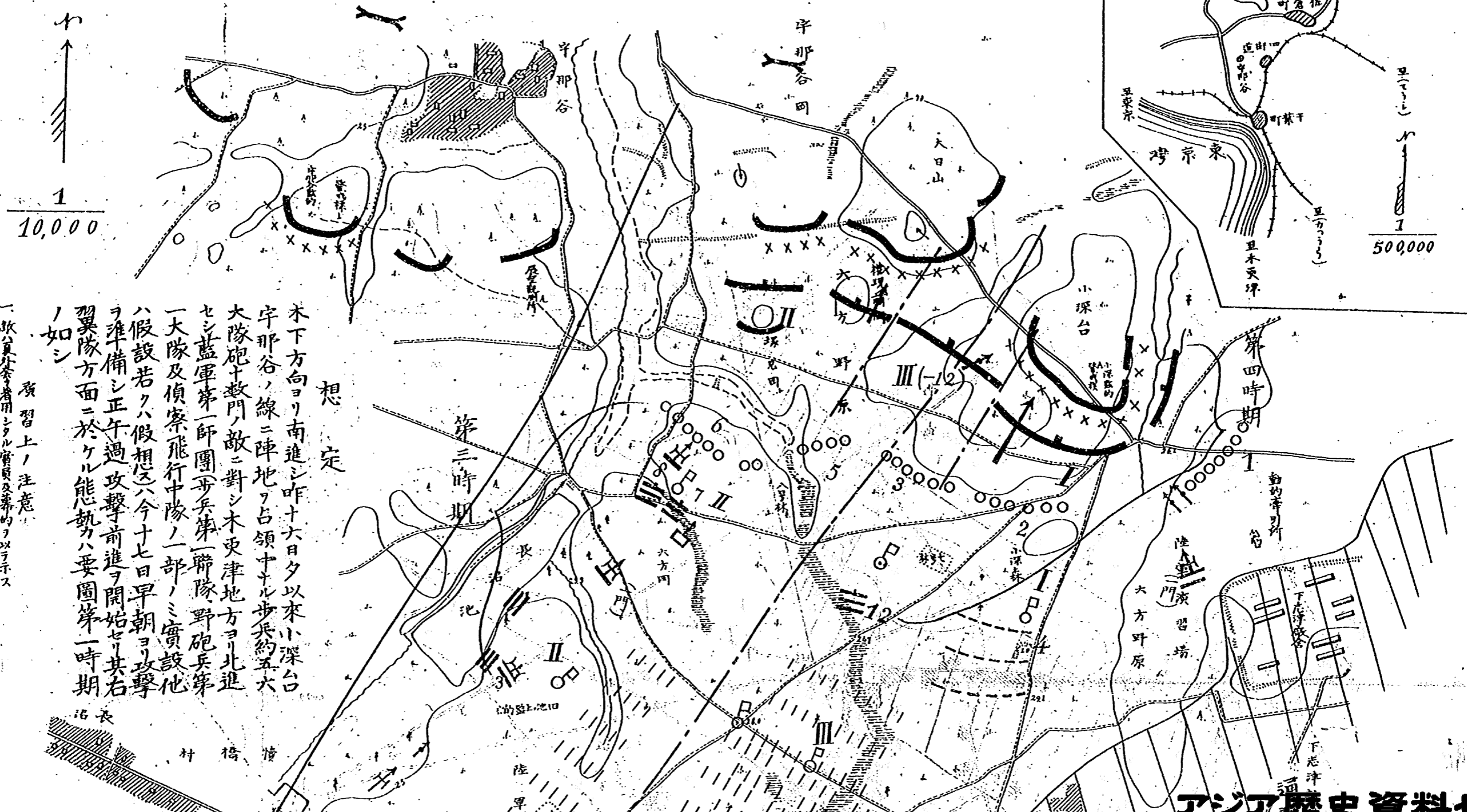
信號ハ附表第一ノ如シ

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

第一師團右翼隊方面戰鬥經過要圖

一般圖



想定

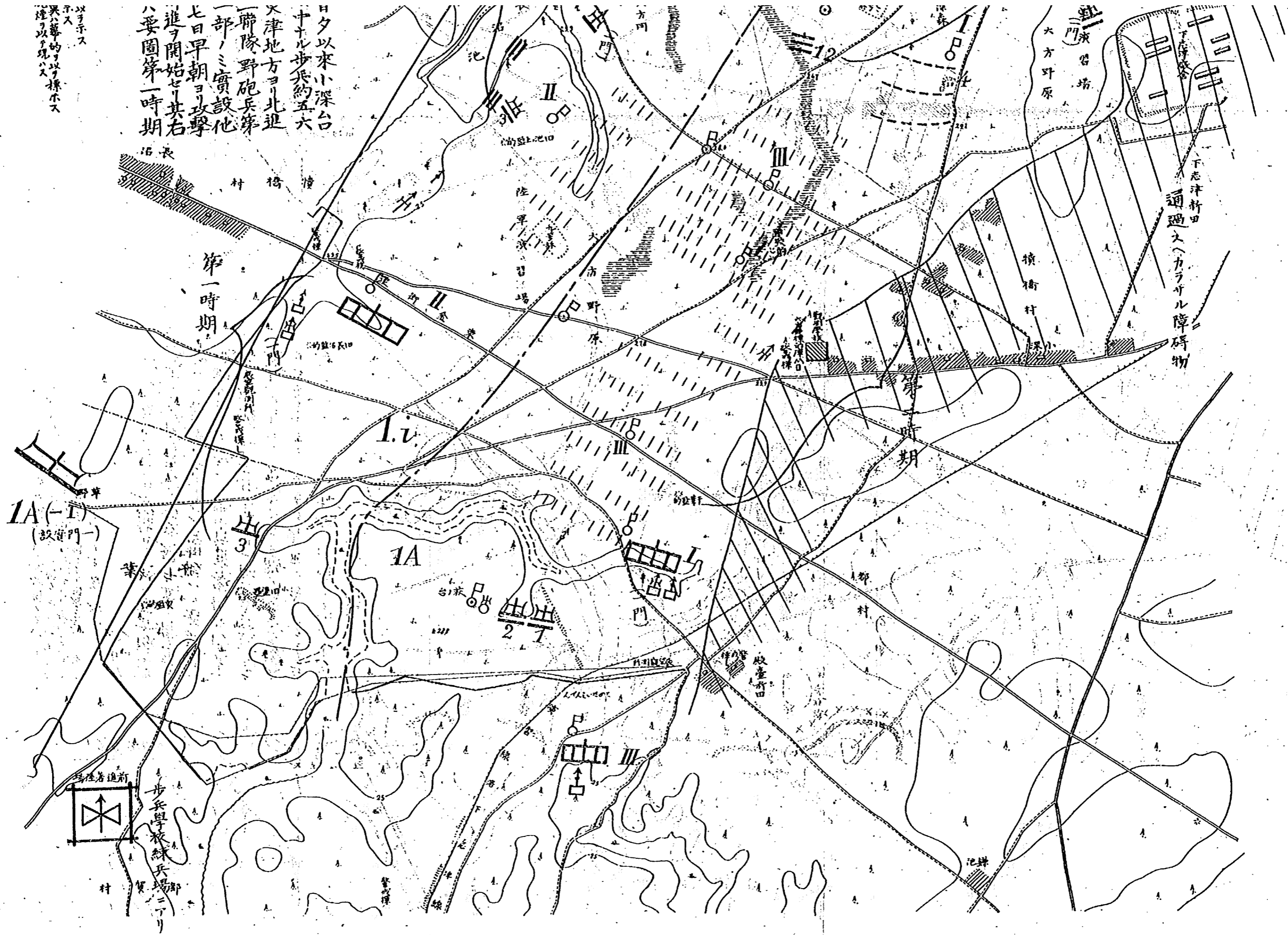
木下方向ヨリ南進シ昨十六日夕以來小深台
 宇那谷ノ線ニ陣地ヲ占領中ナル歩兵約五六
 大隊砲十數門ノ敵ニ對シ木更津地方ヨリ北進
 セシ藍軍第一師團步兵第一聯隊野砲兵第
 一大隊及偵察飛行中隊ノ一部ノミ實設他
 ハ假設若クハ假想込今十七日早朝ヨリ攻撃
 ヲ準備シ正午過攻撃前進ヲ開始セリ其右
 翼隊方面ニ於ケル能執力ハ要圖第一時期
 ノ如シ

預習上ノ注意

一 敵軍外圍ニテ用ニタル質質及標的ヲ以テ示ス
 二 敵軍陣地ニ於ケル鐵線網ノ外線ヲ表示ス
 三 藍軍陣地ニ於ケル鐵線網ノ外線ヲ表示ス
 四 友軍砲兵ノ射擊標的ノ景況ハ擬砲煙ヲ以テ示ス

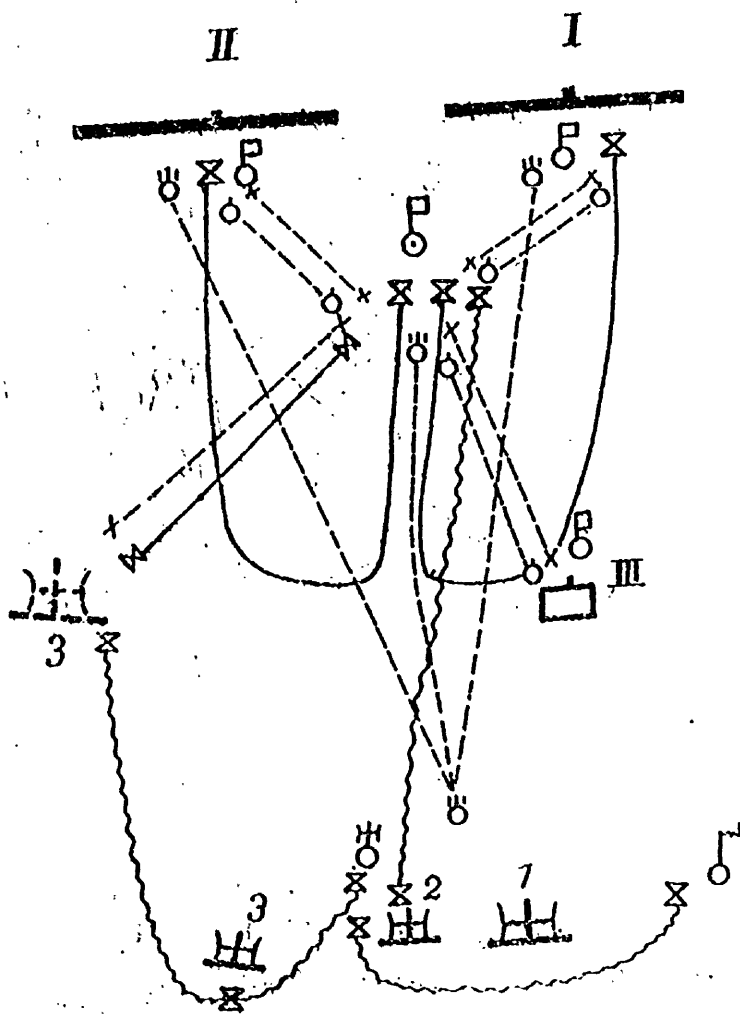
以下ノス
 不入
 異ハ華的ヲ以テ標ホス
 煙ヲ以テ示ス

日夕以來小深台
 中ノル歩兵約五六
 大隊地方ヨリ北進
 一聯隊野砲兵隊
 一部ノミ實設他
 七日早朝ヨリ攻撃
 進ヲ開始セリ其右
 八要圖第一時期



演習部隊通信網

第二圖附



備考

- ● 通信兵
- ○ 電信
- ○ 歩兵
- ○ 兵

0476

附表第一

連絡ノ為ノ特別信號

一、歩兵ヨリ砲兵ニ對スル信號

歩兵			信號種類
突撃前進	射程延伸	砲兵射撃ヲ要求ス	打上煙火
青星	白星	赤星	

二、歩兵ト飛行機間ノ信號

歩兵			飛行機	信號種類
突撃前進	射程延伸	砲兵射撃ヲ要求ス	第一線ヲ標示セヨ	指揮官位置ヲ知ラセ
			黒龍	黄龍
			〇×	

一、以上ノ外ノ信號ハ飛行機ト地上部隊トノ連絡ニ規定(航空部編案)ニ據ル
 二、〇ハ隊號布板ヲ示ス

三、飛行機ト指揮官及砲兵間ノ信號

飛行機		信號種類	無線電信
突撃前進	射程延伸	砲兵射撃ヲ要求ス	トツトツノ連続
			エンエンノ連続
			ヨウヨウノ連続